

第 14 回海部会 WG の進め方

1. 第 14 回海部会 WG の目的

第 11 回 WG（9 月開催）にて、東幡豆トンボロ干潟、西浦人工干潟を調査し、干潟再生、人工干潟の改良についての議論があったため、第 14 回海部会 WG の内容として、再度、矢作川河口部の干潟調査を実施します。

- 矢作川河口部における干潟の状況を参加者で共有する
 - 国土交通省における干潟再生事業の現状を把握する
 - 生き物や景観など視点から干潟を見学し、第 11 回 WG で調査した干潟との違いを把握する
 - 矢作川河口部の干潟の問題点を共有する

2. 開催内容

日時：10 月 7 日（月）12：00～13：00（調査時間 1h）

場所：矢作川河口干潟（矢作川 0.6k 付近左岸）

内容：干潟再生事業の説明、干潟再生調査



調査場所風景（遠景）



調査場所風景（近景）

3. 調査方法

●準備するもの

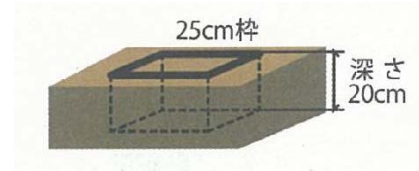
25cm×25cm の枠、スコップ、フルイ（5mm）、バット

① 調査方法説明（5分）

担当者から調査方法の説明があります。

② 泥の採取（5分）

各自、25cm の枠内で深さ 20cm の泥を採取します。



③ 泥をふるう（5分）

泥をフルイに入れ、水に浸けてふるいます。



④ 生物の確認（10分）

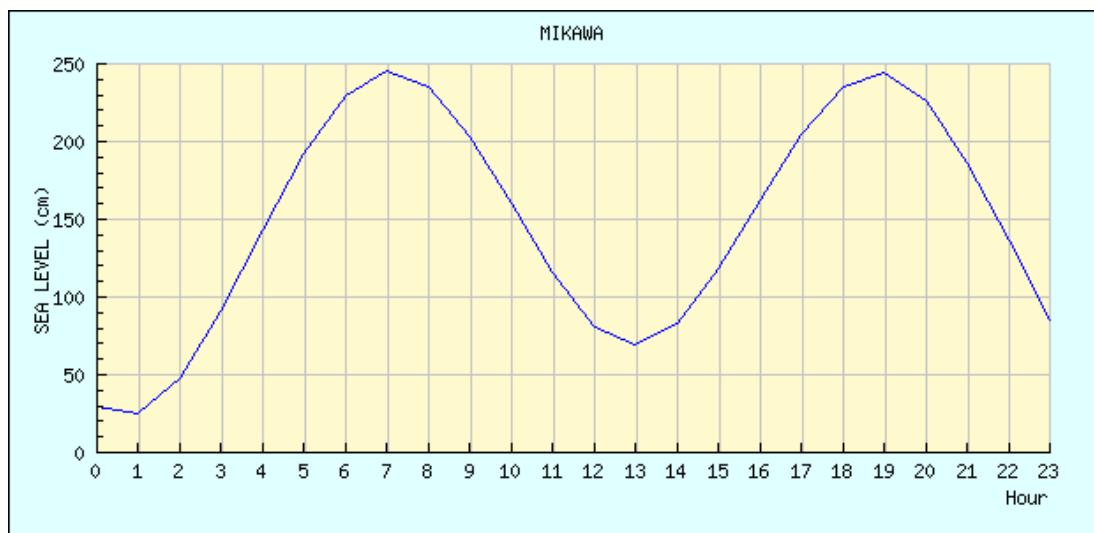
フルイに残った生物をバットに入れ、名前を確認し（次ページ参照）、調査票に記入します。

ここで、担当者からの生物についての説明もあります。



出典：環境・生態系保全活動ハンドブック（全国漁業協同組合連合会）

■参考：潮位表



出典：気象庁 HP 潮位表（三河）<http://www.data.kishou.go.jp/db/tide/suisan/suisan.php>

